

## 平成28年度第2回香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会

○香南市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況シート・・・資料3(1～10)

平成28年11月24日開催

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：(1)足腰を強め「地力」を高める

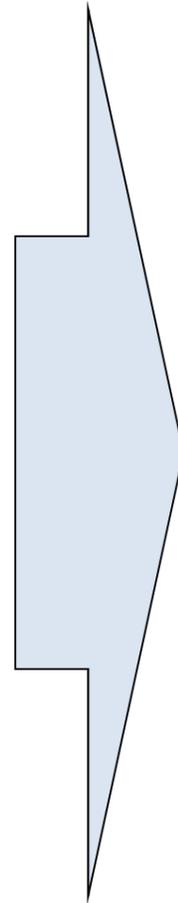
数値目標：新規農業者数 H26:7人/年→H31:10人/年

【概要・目的】 ○農業の分野では、担い手の確保、生産基盤強化により、一次産品の安定生産の体制づくり、生産量増加、市の総生産額の増加へとつなげていきます。

**平成 28 年度の取り組み状況**

**1) 農業の振興**

- ①農業生産基盤の充実
  - ・農業基盤整備促進事業において、老朽化した頭首工他の整備を実施中。概ね順調である。
- ②治水・利水整備の促進
  - ・工業用水道整備事業、農業集落排水整備事業において水路整備等を実施中。概ね順調である。
  - ・農業集落排水事業 PR に向けた小学校(佐古小、岸本小)への環境出前授業など実施済み。
- ③担い手対策の促進
  - ・新規就農者や規模拡大農家に対して園芸用ハウス建設の助成を行う、園芸用ハウス整備事業を実施中。中古ハウス 1 件完成、新規ハウス 4 件が建築中。中古ハウスは農業者、新規ハウスは土佐香美農協が事業主体であり連携を密に順調に実施している。
  - ・ハウス園芸作物の収量向上のため、炭酸ガス発生装置等の導入に対する経費の一部を助成する環境制御技術導入促進事業を実施中。計画どおりの 37 件で補助金交付決定を受け順調に実施している。
- ④農産物ブランド化の推進と加工品の開発
  - ・産業振興推進総合支援事業において、これまでエマルドメロン販売力向上対策として生産面新技術導入や販売戦略の構築を行ってきた。高品質生産力向上対策を実施している。
  - ・ニラの産地力強化「日本一のニラ産地の維持・拡大へ向けた仕組みづくり」として、新技術や有望品種の導入などによる反収の増加、コスト削減を進めるとともに作型改善など経営の安定化を行ってきた。流通、販売上の対策を実施している。
- ⑤消費者の安全安心志向への対応
  - ・地産地消推進協議会事業により、耕作放棄地を利用した学校給食米の栽培を実施、耕作放棄地の解消につなげている。学校給食市内野菜の使用率向上に向けた取り組みを順調に実施している。
- ⑥中山間農地の保全と活用の促進
  - ・鳥獣被害対策事業の実施 【捕獲数イシ 86 頭、シ 68 頭、カラス 18 羽】
  - ・有害鳥獣被害防止事業の実施 【延長 6, 469m 防止柵の設置】
  - ・中山間地域等直接支払事業により、農業生産条件が不利な地域において支援強化を行う。新たな協定締結に向けて調整を実施している。



**課題と今後の取り組み**

**1) 農業の振興**

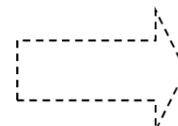
- ①農業生産基盤の充実
  - ・防災関連事業が優先となっており、計画通りの予算割り当てが大変厳しい状況であるが、引き続き、県などに要望を行う。
- ②治水・利水整備の促進
  - ・地元協議調整を行い、事業計画箇所の早期竣工に向けて取り組みを行う。
  - ・引き続き小学校での環境出前授業やふれあい祭りイベントでの加入促進を実施する。設備の老朽化による公共下水道との統合も課題である。
- ③担い手対策の促進
  - ・中古ハウス 2 件、新規ハウス 2 件の合計 4 件を申請予定。施設園芸農業の一層の振興を図るため取り組みを継続実施する。
  - ・環境制御技術の導入を促進し、施設園芸の振興を図る農家への取り組みを継続実施する。
- ④農産物ブランド化の推進と加工品の開発
  - ・エマルドメロン増収、高品質生産向上対策、生産コスト低減技術により生産性強化を図るとともに、ブランド力の強化、有利販売につながる、知名度・販売力の向上対策を実施する。低温期、高温期の品質、収量の向上が課題である。
  - ・ニラー高温対策技術の確立や雇用労力確保、規模拡大など生産上の対策を実施するとともに流通・販売上の対策を実施する。省力、低コスト化の推進及び品質向上が課題である。
- ⑤消費者の安全安心志向への対応
  - ・夏場の野菜対策として予冷庫を年度内に完成予定。玉ねぎや、ジャガイモ等の品目の活用を予定。
- ⑥中山間農地の保全と活用の促進
  - ・農業者へ広報等活用し、事業の周知徹底を図る。関係機関と連携し、農作物の被害の減少に取り組む。
  - ・中山間地域等直接支払事業による新規協定の増加に向け、地区説明会を実施する。

**施策の追加等 (産業振興推進農業部会での意見など)**

- 有害鳥獣対策に関連して、捕獲したイシ・シを適切に処理するだけでなく、何か活用ができないか。(ジビエ料理など)
- 耕作放棄地が増加しているので関係機関と協力し対策を講じてほしい。
- 朝取れニラのブランド化 (例えば・朝取れニラという売り文句で消費者に良いイメージを図る戦略)
- 新規就農者の負担が少なく、参画しやすくなるように園芸用ハウス整備補助事業の新規就農区分の市補助率の引き上げを検討する。

**【平成 31 年度末の目標 (平成 28 年度末到達目標)】**

新規農業者数 H31:10人/年 (H28:10人/年)



**【直近の成果 (アウトカム等)】**

**(数値目標)**

新規農業者数 H28:9 月末 15 人/年 (雇用 1 名、U ターン 13 名、I ターン 1 名)  
 平成 28 年度新規就農者集計表 (平成 27 年 6 月 2 日～平成 28 年 6 月 1 日に就農した者)  
 高知県中央東農業振興センター 調べ

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：(1)足腰を強め「地力」を高める

数値目標：森林境界明確化面積 H26：188ha→H31：600ha 以上

【概要・目的】 ○生産性向上と森林の保全・活用に加えて、森林資源を活用した所得の向上と雇用の創出を図ります。

平成 28 年度の取り組み状況

2) 林業の振興

①森林の多面的な利活用の促進

林道・作業道などの維持管理と整備推進、人工林間伐の支援を強化するなど、林業の生産性の向上と森林の保全活用を実施している。概ね順調である。

・緊急間伐総合支援事業 【実施中】

- 切捨間伐(10ha) 夜須町羽尾・沢谷
- 保育・搬出間伐(30ha) 香我美町撫川 舞川
- 作業道整備(2800m) 香我美町撫川 舞川
- 人工造林(3ha)被害防護ネット(1000m) 香我美町別役

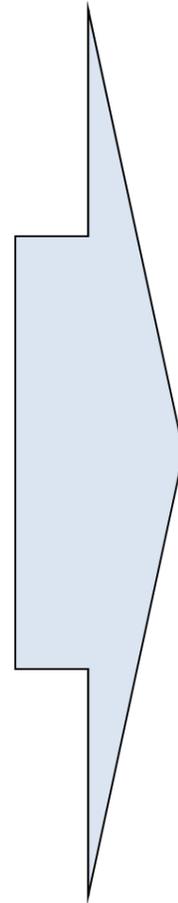
・水源の森整備事業 【実施中】

- 搬出間伐 (5ha) 香我美町撫川

②森林の活用(木質バイオマス利用促進)

・農業ハウス用ペレットボイラー数、現状 2 基の継続使用中。

木質バイオマス利用促進事業については、6 月末全体協議会が開催され、木質バイオマスボイラーの導入状況及びペレット需用状況とバイオマス発電の稼働状況など協議を行う。



課題と今後の取り組み

2) 林業の振興

①森林の多面的な利活用の促進

・緊急間伐総合支援事業及び水源の森整備事業については概ね計画通り実施している。世代交代などもあり、事業実施に伴う地権者との交渉が困難になってきている状況がある。

本年度は、他市において重点的に計画が実施されるため森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）は未実施である。次年度は実施を予定している。

②森林の活用(木質バイオマス利用促進)

・導入当初に比べ原油価格も下落したことなどにより、年間燃料費の大幅なコストダウンには至っていない。今後は、機器の耐用年数の問題も発生するなど利用者の意向と併せて関係機関と連携した取り組みが必要となる。

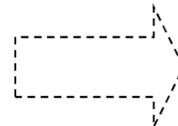
施策の追加等 (産業振興推進林業部会での意見など)

- 森林の自然環境破壊や鳥獣被害の問題が深刻化している。
- 世代が変わり境界だけでなく所有者自身が場所も分からなくなっている。山林の相続の問題がある。
- 香南市新庁舎への県産木材及び CLT 工法の活用。
- 林業の担い手発掘及び木と親しむ義援活動の実施。

【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】

H31： 600ha 以上 〈H28： - 〉

※森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）本年度は未実施。



【直近の成果（アウトカム等）】

(数値目標) H28:9 月末 -

※森林境界明確化事業（団地化及び境界明確化）本年度は未実施。

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する	基本的方向：(1)足腰を強め「地力」を高める	数値目標：沿岸漁業総生産量 H26:1, 313トン→H31:1, 200トン以上維持
---------------------------------	------------------------	--

**【概要・目的】** ○生産基盤充実や後継者育成支援、観光産業との連携を推進し、資源回復と経営力の強化により稼げる水産業を目指します。  
○農業・水産業における加工、流通、販売体制を強化するために、水産加工品の付加価値向上を図り、農業、水産業における加工・流通・販売体制を強化、香南市ブランドの展開や販路拡大を図ります。

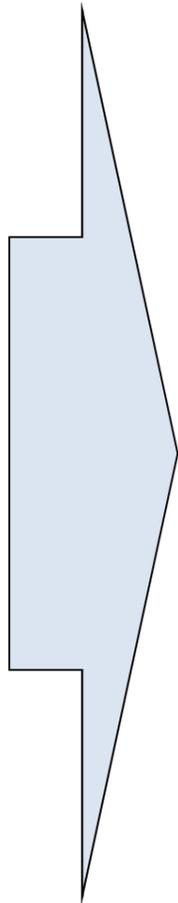
**平成 28 年度の取り組み状況**

**(3)水産業の振興**

- ①漁港の改修・整備等の推進
  - ・漁港施設の老朽化に伴う改修工事を行い、計画的に漁港の保全、改修整備を行う。
  - ・吉川漁港施設用地舗装復旧工事を行い、施設の保全を実施、概ね順調である。
- ②漁業経営の基盤強化
  - ・老朽化に伴う各種漁業用施設の改修、整備を順調に実施している。
  - 赤岡水産機能施設の荷捌所排水施設修繕工事、ホストクレーン取替工事の発注済み 10 月末完成予定。手結支所フォークリフト購入事業実施済みにより作業効率の向上が図られた。
  - ・赤岡、吉川漁港の鳥害対策を検討する。
- ③漁場の保全
  - ・母藻の設置やウニ駆除など、手結地区藻場保全活動が順調に実施している。
  - ウニ駆除 (4 回) 母藻の設置。
- ④観光漁業の推進
  - ・地引き網漁業経営体の維持 (1 経営体) を図る、上半期の地引き網実施回数 2 回。地産地消推進事業と連携し小学生地引き網体験を計画している。(11/13 実施予定)
- ⑤水産加工品流通販売の推進
  - ・シイラが学校給食のメニューとして定着したことや、販売先の拡大などにより販売金額も目標を達成し超過している。(2400 万円)。

**(4)農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化**

- ①地産地消の推進
  - ・学校給食へのシイラ加工品の納入回数 (12 回) 順調に実施している。地産地消推進事業、体験学習の計画を行う。(11/13 実施予定)
- ②加工・流通・販売などの体制を強化
  - ・手結支所加工場整備事業によりヘッドカッターを導入し、作業効率の向上が図れた。



**課題と今後の取り組み**

**(3)水産業の振興**

- ①漁港の改修・整備等の推進
  - ・漁港施設の保全、長寿命化の推進を行う、また県管理港湾、漁港、海岸事業への継続要望を実施する。
  - ・吉川、住吉漁港航路標識保守点検を 12 月以降実施予定。
- ②漁業経営の基盤強化
  - ・漁業用施設の老朽化が進んでおり、機能保持のための改修、整備を継続的に実施する。
  - ・ハトのフン害等、施設の衛生管理対策の検討を行う。
- ③漁場の保全
  - ・事業を効果的に実施していくため活動内容等の再検討を行う。
- ④観光漁業の推進
  - ・観光、農業分野との連携が弱い、従業者の高齢化、担い手不足など経営維持が厳しいなどの課題がある。今後、地引き網、釣り船等多角的な漁業経営への支援や観光、農業分野との連携、情報発信の強化が求められる。
- ⑤水産加工品流通販売の推進
  - ・シイラ加工商材の新たな事業展開としてブランド化の確立によりさらなる漁業経営の安定化を図る。

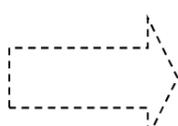
**(4)農業・水産業における加工・流通・販売体制の強化**

- ①地産地消の推進
  - ・シイラ加工品の学校給食への納入増加に伴い収益の増加につながっている。引き続き普及啓発と食育授業、体験学習の継続及び強化を図る。
- ②加工・流通・販売などの体制を強化
  - ・シラスの学校給食への導入に取り組むとともにシラス加工品の新たな事業展開として新商品の開発等についても協議を行う必要がある。

- 施策の追加等** 産業振興計画推進水産部会意見など
- シイラ加工商材の新たな事業展開、真空パック機械の導入検討。
  - 衛生管理対策の向上(ハトフン被害)
  - 新規漁業就業者確保に向けた取り組み
  - 地産地消の推進(天然色市場及び学校給食への地元食材の納入)

**【平成 31 年度末の目標 (平成 28 年度末到達目標)】**

沿岸漁業総生産量 H31:1200t 以上維持 < H28:1200t 以上維持 >



**【直近の成果 (アウトカム等)】**

(数値目標) H28:9 月末 沿岸漁業総生産量 404 t (イワシラス・シイ等)

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：(2) 新たな産業づくりに挑戦する

数値目標：製造品出荷額 H26:407 億円→H31:500 億円以上

**【概要・目的】** ○商工業の分野では、既存企業への育成支援、地場産業や観光施設との連携により、魅力ある商業地・商店街づくりを推進するなど、ものづくりからの雇用拡大と地域の賑わいを創出します。  
○6次産業化による新産業の創出では、生産者が付加価値を生み、産業を活性できる仕組みづくり、及び関係機関と連携し、補助事業の活用等を含めて支援していきます。

**平成 28 年度の取り組み状況**

1) 商工業の振興

①企業誘致の促進

- ・香南工業団地整備事業により整備された区画の早期完売の取り組み実施。(残り 1 区画) 高知県企業立地セミナー in 大阪(8/23)へ参加実施。
- ・工場建設中((株)精工)や新たに着工(9/16)した企業(山本貴金属地金(株))あり。香南市への問い合わせ件数(3 件)  
平成 28 年度に操業開始を予定している企業と雇用対策に関する打合会を開催 (7/26) (株)精工-会社説明会、面接会の開催 (9/23. 24)  
2 日間で 26 名参加 (うち香南市在住 15 名)

②既存企業の育成・支援

- ・香南市緊急融資保証料補給金事業において、高知県信用保証協会と補給金交付契約書を締結。(4/1)

③魅力ある商業地・商店街づくり

- ・香南市地域経済活性化委員会ポイント制度導入に向けて検討を行っていたが、商工会の会員へのアンケート結果を踏まえ、検討を一時休止することになった。

④空き店舗の活用

- ・空き店舗対策事業費補助金交付要綱の制定。

⑤新規企業の育成支援

- ・香南市香我美町立地企業交流会開催 (6/1) ・ ・ 8 企業(14 名)の参加。
- ・香南市ものづくり会 8 月開催予定を 11 月頃に延期。

2) 6次産業化による新産業の創出

①魅力ある新商品の開発

- ・ヤ・シパーク周辺地域の活性化策として特産品を活用した氷菓や焼き菓子類を製造販売する加工所兼店舗の整備を実施。(5 月) 店舗スタッフの雇用 11 名(正規職員:2 名、非正規職員:9 名(パート・アルバイト))、各種研修会への参加実施。フルーツアイスバー専門店&スイーツカフェ「mana mana」グランドオープン (9/17)  
\*土佐カントリークラブ(香南市)、デュロックファーム(四万十町)でアイスバー3 種限定販売。  
\*大阪市のレストランでアイスバー8 種限定販売。  
\*ランチメニューの提供(9/1~)

**課題と今後の取り組み**

1) 商工業の振興

①企業誘致の促進

- ・残り 1 区画 (約 1.6ha) について、県企業立地化と連携し早期完売を目指す。
- ・県、市、ハローワークがタイアップし、さらなる雇用促進につなげる。県外で開催される移住、就職相談会への参加を行う。

②既存企業の育成・支援

- ・信用保証協会と連携し、中小企業の経済的負担の軽減を図る。

③魅力ある商業地・商店街づくり

- ・イベントの開催やガイドブック作成等について検討する。

④空き店舗の活用

- ・補助金の有効活用を図るよう周知徹底を行う。

⑤新規企業の育成支援

- ・年度内に第 2 回目の開催を予定。(自衛隊高知駐屯地との交流を予定)
- ・延期となった懇談会の開催。(11 月予定)

2) 6次産業化による新産業の創出

①魅力ある新商品の開発

- ・安定した利用客、売上の確保。新商品の開発。

**施策の追加等** (産業振興計画推進商業部会での意見など)

- 緊急融資保証料補給金事業について日本政策金融公庫との連携検討。
- 香南市の情報を取りまとめたガイドブックを作成する方法を検討したい。
- 事業者や団体がより連携、協力できる体制づくり。
- 特産品などを再度ブラッシュアップし外貨を得るビジネスモデルの作成。

(産業振興計画推進工業部会での意見など)

- 人材育成事業費補助金は講師招聘にも支援ができるよう検討。
- 香南市ものづくり会は農業、漁業などの異業種を集めてニーズを聞く場を設けてはどうか。
- 工業部会の部員で香南市ものづくり企業など訪問し、新たな施策に役立ててはどうか。
- ポリテクカレッジの施設は機器の使用料が非常に安い。起業支援や新ビジネスなどを支援する施設として活用が図れるのではないか。

**【平成 31 年度末の目標 (平成 28 年度末到達目標)】**

製造品出荷額 H31: 500 億円以上 (H28: 500 億円以上 )

**【直近の成果 (アウトカム等)】**

(数値目標) H28:9 月末 -

※工業統計の数値より、年度途中は公表無し

基本目標 1 : 魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向 : (2) 新たな産業づくりに挑戦する

数値目標 : 観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人以上

【概要・目的】 ○観光のまちの育成では、観光地や施設を訪れた人が地域交流を楽しむ機会づくりや受入体制の充実、また、安心して楽しむための整備を推進するとともに、地域の情報発信力強化に取り組みます。

**平成 28 年度の取り組み状況**

**3) 観光のまちの育成**

①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

- ・物部川流域フェスタ実行委員会におけるイベント部会の開催。(延べ 5 回)  
第 2 回物部川フェスタ 9 月 25 日 (日) 開催。 来場者約 4,000 人。  
出店 21 店舗、体験イベント (カヤック、雲梯) 実施。

②情報発信手段の効果的な活用

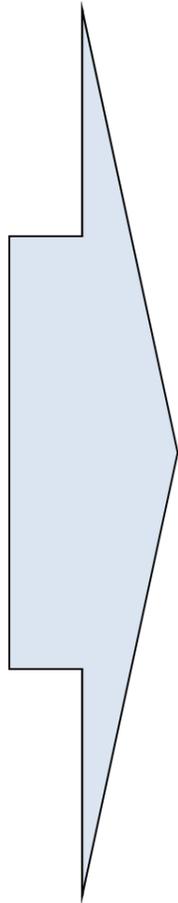
- ・外国人観光客受入整備の実施。(Wi-Fi、観光案内板)  
公衆無料 Wi-Fi の整備 6 箇所を実施。(のいち駅、ヤ・シパーク、絵金蔵、弁天座、サイクリングターミナル、天然色市場)。ヤ・シパーク施設案内板の 5 カ国語表記を実施中。\*5 カ国語 英語。中国語 (簡体字・繁体字)・韓国語・タイ語

③地域に親しむ観光の促進

- ・まちの案内人会として現状約 10 名程度活動可能な状況。あじさい街道ウォークに案内人として参加する。
- ・ウォーキングコースは計画どおりコース設定(赤岡地区 2 コース)を行っている。
- ・観光協会がのいち駅にレンタサイクルの増台を図る、サイクリングコースの設定に取り組む。

④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

- ・市民と地域資源の総力を結集したビジネス支援事業 (カタログ販売) において、生産者会議やカタログ部会を開催し、広報活動として香南市広報誌や南国・香美・香南地域情報雑誌「こじゃんと」にて紹介、商談会にて配布、DM 発送、香南市内各施設にて配布、まるごと高知、まるごと日本、移住促進センター(以上、東京都)、香南市内外イベント会場にて配布等を行い、販売額向上に取り組む。



**課題と今後の取り組み**

**3) 観光のまちの育成**

①観光・交流の拠点の場づくりと市民参加

- ・出店及び出演者に対してアンケートの実施、来年度の開催に向けた事業計画に反映を行う。

②情報発信手段の効果的な活用

- ・引き続き外国人観光客の受入環境の整備を実施する。

③地域に親しむ観光の促進

- ・勉強会や研修を通じて、観光産業を担う人材を育成する。
- ・引き続きウォーキングコース設定(香我美地区 2 コース予定)を行う。
- ・県や関係市町村と連携し、コンセプト (食・歴史・景観等) を持ったコース設定を行う。また地域全体で盛り上がる体制づくりが必要。

④活性化に向けたあらゆる産業との連携強化

- ・通年カタログの配布。商品の PR、販路拡大に向け関係機関で引き続き取り組む。

**施策の追加等** (産業振興計画推進観光部会での意見など)

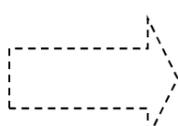
- 三宝山で年に数回イベント開催を行い、PR できないか。
- ニラの朝どれといった付加価値をつけたイメージ戦略やブランド化に向けた取り組み。
- 外国船受入体制を加速させる連携づくり。
- サイクリングコース等は地域だけでなく、広域的に考えていく必要がある。
- 地元の人向けにイベントや観光の取り組みをもっと宣伝したらどうか。

(サイクリング専門委員会での意見など)

- サイクリストにとって魅力的で、体力レベルにフィットしたコース作り。
- 呼び込みたいターゲット層の絞り込み。 ○看板などの整備を加速させる。
- 情報発信の方法に工夫をする。 ○サイクリングを地元でサポートする体制づくり
- 自転車を公共交通機関に乗り入れできる体制づくり。 ○スマートフォンアプリの活用
- サイクリングターミナルをサイクリストに魅力がある施設へするため設備の見直しなど。

**【平成 31 年度末の目標 (平成 28 年度末到達目標)】**

観光施設入込客数 H31: 100 万人以上 (H28: 100 万人以上 )



**【直近の成果 (アウトカム等)】**

(数値目標) 観光施設入込客数 H28:9 月末 77.6 万人

\*対象観光施設  
のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シパーク、絵金蔵、香南市サイクリングターミナル (宿泊以外)、天然色市場、やすらぎ市、あぐりの里、アクランド、黒潮温泉、土佐カントリークラブ

基本目標 1：魅力あふれる産業を振興し、安定した雇用を創出する

基本的方向：(3) 分野を超えた産業間の連携を強化する

数値目標：観光施設入込客数 H26:93 万人→H31:100 万人以上

**【概要・目的】** ○6次産業化による地産地商の徹底では、生産物の出荷価格の維持、付加価値化による生産物の出荷価格の安定。食糧の安定供給、地場産品の生産の維持・継続を図ります。  
 ○観光拠点形成とネットワーク構築では、地域資源の再発見を進めるとともに、各観光施設・交流拠点のネットワーク化を図り、観光資源を点から面へと一体化した情報提供や、観光協会などの支援を促進します。  
 ○産業人材の育成・確保では、ハローワークや企業など、さまざまな分野との連携を強化し、就労機会の拡大に努めるとともに、県と連携し産業振興等につながる人材育成の実施を支援していきます。

**平成 28 年度の取り組み状況**

1)6次産業化による地産地商の徹底

①地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

・やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場などの直販所で、主力商品の定着、充実を図り生産農家の所得向上に取り組んでいる。

②地域内での創意工夫によるコミュニティの支援

・西川集落活動センターでは、高知大学協働学部の学生との連携により、みかんジャムと生姜ジャムが完成している。現在、タンポポ茶の開発に取り組んでいる。

2)観光拠点形成とネットワーク構築

①資源の再発見(価値化・付加価値化)

・新たな観光拠点の形成として、平成 27 年度に「三宝山基本構想磨き上げ検討委員会」が行われ、平成 28 年度は基本計画について策定する予定。  
 現在は、シャトー三宝の耐震診断を実施中。(工期 6/9-12/12)

②観光・交流の場づくり(地域住民参加)

・祭りやイベントの開催により地域の特色を活かした活性化を図る。  
 どろめ祭り(中止)、絵金祭り(7/16.17)、みなこい港まつり(7/31)など開催。

③観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

・地域素材を使った旅行商品として、ニラ収穫体験モニター(5/29:7人参加、6/5:中止) 羽尾暮らし体験モニター(6/23:5人参加、7/23:16人参加) 折り紙&新聞ハック教室(8月毎週土のべ16人参加)など開催。

④物部川流域3市での観光振興

・物部川 DMO 協議会設立(6/30)、株式会社ものべみらい発足(9/12) 毎月定例会(7/20, 8/17, 9/21, 10/19, 11/16)を開催し、広域観光活性化について協議。

※注)日本版DMOとは・・・地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として、多様な関係者と協働しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人。

3)産業人材の育成・確保

①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

・香南市産業人材育成事業の補助金交付要綱及び公募要領作成(6/1) 市広報、HP で周知。商工会を通して、事業所へ公募要領の配布。  
 香南市香我美町立地企業交流会で紹介。  
 ・香南市未来人材奨学金支援事業の補助金交付要綱及び公募要領の作成中。

**課題と今後の取り組み**

1)6次産業化による地産地商の徹底

①地産地商の拠点(直売所)の機能拡充

・やすらぎ市、あぐりの里、天然色市場などで地場産品を活かした加工品の販売を行い、集客増及び売上増加につなげる。

②地域内での創意工夫によるコミュニティの支援

・販売可能なみかんジャムは手作りのため、人手に加えて作れる時期に限られることから、製造量が増やせず販路拡大、収益につながっていない状態。地域の高齢化に伴うマンパワーの不足が課題。

2)観光拠点形成とネットワーク構築

①資源の再発見(価値化・付加価値化)

・現在は耐震診断の実施中。今後、基本構想磨き上げ検討委員会でとりまとめたエリア活用の方向性をもとに、民間事業者が参画する検討委員会を立ち上げ協議を行う。

②観光・交流の場づくり(地域住民参加)

・祭りイベントの周知徹底を行い、地域住民の参加及び交流人口拡大につなげる。冬の夏祭り開催予定(12月)

③観光旅行会社(企画)とのタイアップによる複数観光ルートの構築

・各施設と連携し香南市での滞在と観光素材への集客拡大を図る。セールスキャラバン等にも参加し香南市の知名度アップを図る。

④物部川流域3市での観光振興

・物部川 DMO 協議会による具体的な取り組みの実践。  
 協議会の運営を担う(株)ものべみらいによるパレットプロジェクトの検討及び実施(12/23 予定)、子育てファミリー層をターゲットとした物部川流域活性化のキックオフイベント(のいち動物公園ほか)

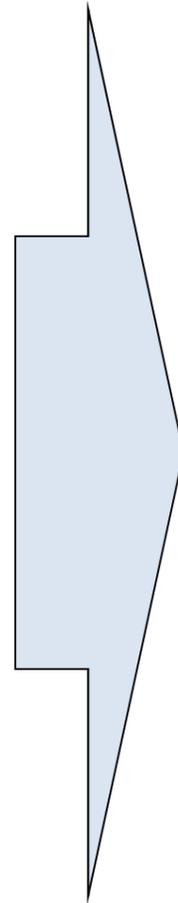
3)産業人材の育成・確保

①雇用支援、企業支援のための情報発信、情報入手の場(拠点)の整備

・香南市産業人材育成事業は、事業所が活用出来る研修の案内や補助制度の活用を研修機関と連携してすすめていく。  
 ・今後、大学生や対象企業への周知を行う。

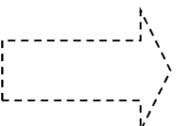
**施策の追加等** (産業振興計画推進観光部会及びサイクリング専門委員会での意見など)

※前ページ 観光のまちの育成と同様



**【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】**

観光施設入込客数 H31: 100 万人以上 〈H28: 100 万人以上〉



**【直近の成果(アウトカム等)】**

(数値目標)

観光施設入込客数 H28:9 月末 77.6 万人

\*対象観光施設

のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、香南市サイクリングターミナル(宿泊以外)、天然色市場、やすらぎ市、あぐりの里、アクトランド、黒潮温泉、土佐カントリークラブ

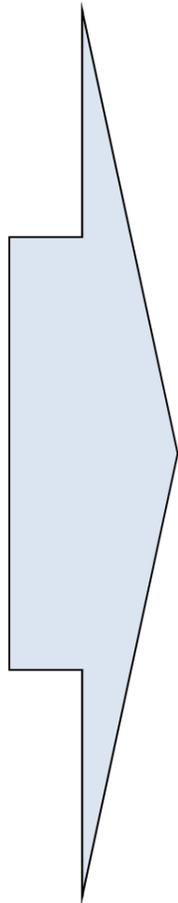
基本目標 2 : 新しい人の流れをつくる	基本的方向 : (1) 移住のためのしくみづくり	数値目標 : 人口の社会増減 H26:社会減→H31:社会増 120 人以上 県外からの移住者 H26:3 組→H31:年間 20 組以上
----------------------	--------------------------	--

**【概要・目的】** ○情報発信や移住相談を推進します。 ○若者の出会いの機会や情報交換ができる場づくりや交流事業を支援します。  
○地域内で経済の好循環を生み出す取組みを推進します。 ○県と連携した取組みを推進し、また「移住フェア」などを活用して移住の促進を図ります。

**平成 28 年度の取り組み状況**

1) 移住・定住促進のためのしくみづくり

- ①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- ④移住促進
  - ・香南市ウェルカム移住、定住促進事業の実施。  
中山間地域をモデル地域(香我美町東川・西川地区、夜須町北部地区)としての空き家の掘り起こしを実施。  
お試し住宅、移住者支援住宅用の掘り起こしが各 1 件。  
中山間地域以外の地域は、空き家バンクの設置に向け取組みを行う。(11 月～)
  - ・移住応援ガイドブックを作成。(香南住むーず)
  - ・高知県版 CCRC 構想(H28. 7)の策定を受け、県移住促進課と情報共有など連携を行う。
- ②若年層の交流・情報交換やイベント開催
  - ・若年層の交流、イベント開催支援など実施。  
婚活支援団体より 1 件申請、9/4 夜須町において男女 38 名交流会の実施。
- ③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
  - ・集落活動センターでは、高知大学協働学部の学生との連携により、みかんジャムと生姜ジャムが完成している。現在、タンポポ茶の開発に取り組んでいる。



**課題と今後の取り組み**

1) 移住・定住促進のためのしくみづくり

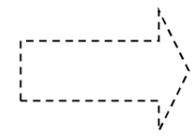
- ①「香南市を知って、好きになってもらう」魅力、多様な情報の発信
- ④移住促進
  - ・お試し住宅や移住者支援住宅は、所有者との契約をはじめ、改修等の整備に向けて順次進めている。中央広域 4 市(高知市、南国市、香美市、香南市)で連携し広域的に取り組んでいく。(移住相談会への出展)  
空き家バンクの構築に向けて、掘り起こしを継続する。市内全域を対象に 11 月から空き家バンクスタート。
  - ・移住促進のための情報収集及びガイドブックと連携したホームページの作成を行う。
  - ・庁内において CCRC 構想の理解を深めるため議論、勉強会を行う。
- ②若年層の交流・情報交換やイベント開催
  - ・婚活セミナーの開催 10/30「羽尾で手を繋ごう」男女 19 人参加開催。  
婚活支援団体のイベント開催予定(12/24)  
移住定住促進に向けどのようにつなげていくか課題。
- ③産官学連携、人材育成による暮らしと産業が調和した自立地域への支援
  - ・販売可能なみかんジャムは手作りのため、人手に加えて作れる時期に限られることから、製造量が増やせず販路拡大、収益につなげていない状態。地域の高齢化に伴うマンパワーの不足が課題。

**施策の追加等** ○人口問題を考える会の開催(4 回)【施策検討案】

- ①20 代から 40 代の子育て世代 ・児童手当拡充 ・祝い金
- ②移住者を呼び込む ・地域おこし協力隊を 5 年間で延べ 10 人採用する  
・市内企業が移住者枠で採用

**【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】**

H31:人口の社会増減 社会増 120 人以上 (H28: 91 人 以上 )  
県外からの移住者 年 間 20 組以上 (H28: 2 組 以上 )



**【直近の成果(アウトカム等)】**

(数値目標)  
H28:9 月末 人口の社会増減 H28: 転入 656 人-転出 619 人 37 人増  
( 参考※H27: 転入 709 人-転出 682 人 27 人増 )  
県外からの移住者 H28: 3 組 (3 世帯 3 人)  
※広報市のうごきより  
※県移住促進課調べ

基本目標 3：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	基本的方向：(1)人生をトータルでサポートする体制づくり (2)子ども、子育て支援・環境の充実支援	数値目標：婚姻件数(人口動態調査)H26:144件→H31:154件 合計特殊出生率(住民基本台帳) H26:1.44→H31:1.60
-------------------------------	--	---

**【概要・目的】** ○香南市人生支援計画に基づき、若者の出会いの場づくりや子どもを安心して生み育てられる環境づくりなど、市民の人生をトータルでサポートする行政の体制づくりを目指します。  
○家庭・地域・学校の連携・協働を進めることで子どもから高齢者まで様々な人が参加・交流し、地域を活性化させ、子育てを中心とした地域社会のつながりの再生を促進します。安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備します。

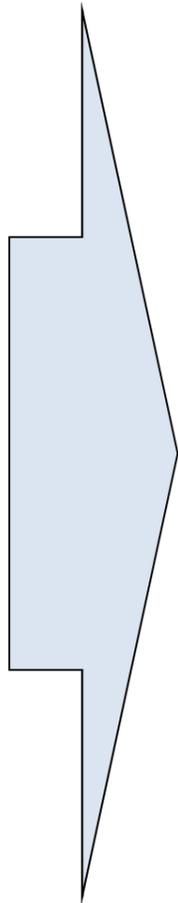
**平成 28 年度の取り組み状況**

1)人生をトータルでサポートする体制づくり

- ①ライフステージに応じた切れ目のない支援
  - ・平成 28 年度人生支援計画策定委員会の実施(①6/23②10/26)
  - ・幼年期から高齢期までのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策を実施中。
  - ・人口減少問題を考える部会の開催(4回)
  - ・香南市まるごとポイント制度検討(8/17、8/30)
- ②若者の出会いの場づくり
  - ・男女の出会いの場の提供支援について、婚活を支援する団体(よりあいにこ家)より 1 件申請あり、9/4 夜須町において男女 38 名交流会の開催。

2)子ども、子育て支援・環境の充実支援

- ①子育てを支援する地域の育成
  - ・学校地域支援本部設置事業の活用できる学校は積極的に導入を進めている。
- ②子育て施策の充実
  - ・乳児家庭への訪問は、順調に実施している。
  - ・地域子育て支援センターの利用者増加を目指し継続的に事業に取り組んでいる。
  - ・平成 27 年度に子育て情報を掲載した子育てガイドブックを作成。  
市ホームページにおいて平成 28 年 5 月より子育て情報サイトを設け情報を発信。  
平成 28 年 9 月末の子育て情報サイトへのアクセス数は 1492 件となっている
  - ・こうなんファミリーサポートセンター事業が 11 月よりスタート。  
「まかせて会員」への登録に伴う、講習会の開催実施。(第 1 回 8/20、8/21)
  - ・香南っ子夢実現プロジェクトの取り組みを実施。小 6 対象にアンケート実施。
- ③多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充
  - ・保育所での子ども一時預かりを継続して実施。香我美おれんじ、夜須、赤岡の各保育所。
  - ・平成 28 年度より野市小学校第 3 児童クラブの開設による定員増により受入拡充が図れた。



**【平成 31 年度末の目標〈平成 28 年度末到達目標〉】**

H31:婚姻件数(人口動態調査):154 件	〈H28: 148 件〉
合計特殊出生率(住民基本台帳):1.60	〈H28: 1.50 〉

**課題と今後の取り組み**

1)人生をトータルでサポートする体制づくり

- ①ライフステージに応じた切れ目のない支援
  - ・H29.2.9 に策定委員会開催予定。
  - ・人生支援計画の重点施策等の進捗状況を管理する。
  - ・人口減少問題を考える部会での新たな事業提案について検討を行う。
  - ・9 月から始まった高知家健康パスポート。このパスポートに設定されている市町村枠を活用した内容の検討を行う。
- ②若者の出会いの場づくり
  - ・婚活セミナーの開催 10/30「羽尾で手を繋ごう」男女 19 人参加開催。婚活支援団体のイベント開催予定(12/24) 移住定住促進に向けどのようにつなげていくか課題。

2)子ども、子育て支援・環境の充実支援

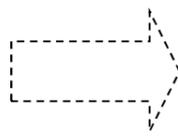
- ①子育てを支援する地域の育成
  - ・校長会等で学校の取り組みを紹介しており、来年度導入を検討している学校が出てきている。
- ②子育て施策の充実
  - ・乳児家庭訪問は、できるだけ生後 1 ヶ月までに、遅くとも生後 4 ヶ月までに実施する。
  - ・平成 29 年度の地域子育て支援センター統合に向け事業の充実を図る。
  - ・今後も情報の充実を図り周知を行っていく。
  - ・ファミリーサポートセンター事業内容や会員登録についての周知を行う。11 月にまかせて会員の講習会実施予定。(第 2 回 11/24、11/25)
  - ・アンケートの集計。夢実現プロジェクトを選考し、今年度中に実現に向けて協議を行う。
- ③多様な保育事業・放課後児童クラブの拡充
  - ・ニーズが増加しており受入体制を整えていく。
  - ・平成 29 年度からは、佐古、野市東小学校で増設による定員増を行い、6 年生までの受入を始める。

**施策の追加等**

- 香南市立の全幼稚園での「預かり保育事業」の実施について
- 高知家健康パスポートを利用した、香南市のポイント制度について
- 不妊治療の助成について

**【直近の成果(アウトカム等)】**

※参考指標 出生者数 H28:9 月末 H28: 108 人  
 〈参考 H27: 126 人〉  
 ※広報市のうごきより



<p>基本目標 4 : 時代に合った地域をつくり、地域の連携により安心なくらしをまもる</p>	<p>基本的方向 : (1)協働のまちづくり推進 (2)災害に強いまちづくり</p>	<p>数値目標: 自治会協議会結成率 H26: ①協議会 47%②自治会 61%→H31: ①100%②100% 自主防災組織結成率 H26: 89%→H31: 100%</p>
---	--	---

**【概要・目的】** ○地域コミュニティの維持や活性化を促進する、地域の仕組みづくりを支援していきます。  
○診断士を派遣し診断、耐震化のための工事費に対する補助金など、個人住宅の耐震化を促進するとともに、各地域の防災体制づくりのリーダー育成の研修など、地域の自主防災組織づくりへの支援、災害時の地域の支え合い体制の強化を図ります。

**平成 28 年度の取り組み状況**

**1) 協働のまちづくり推進**

①住民との情報交換

- ・4月15日から5月20日にかけて、市内18カ所で地区懇談会を開催。のべ876人の参加。地区懇談会カルテ更新済。14ヶ所(香我美6ヶ所、夜須、赤岡、吉川各1ヶ所、野市5ヶ所)

②地域活動の支援体制強化

- ・香南市地域活性化総合補助金事業を順調に実施。香南市まちづくりフォーラムを開催(10/15)。

**2) 災害に強いまちづくり**

① 耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実

- ・市広報や自主防災組織研修会などで制度のPRを実施している。新聞広報やテレビCMなども使い広く周知を図っている。
- ・備蓄について食料、水の本年度分の発注は完了している。また、野市町へ備蓄倉庫の整備を進めている。

②自主防災組織の設立・活性化

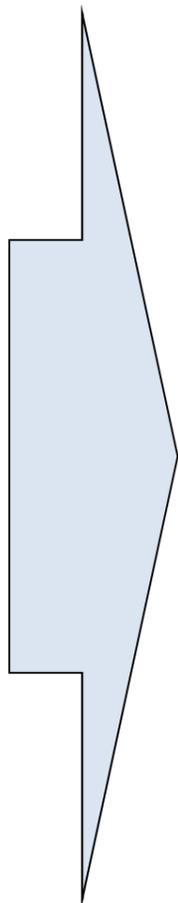
- ・県主催のリーダー育成研修、防災士研修、シンポジウム等への各種参加案内を通知している。

③災害時における地域の支え合いづくり

- ・要配慮者名簿を策定し、支援プラン作成対象者からの情報提供に関する同意を取得する。

④消防・防災対策の強化

- ・県下一斉の避難訓練に合わせ市の総合防災訓練を実施(9/4)。吉川をメイン会場とし、赤岡小学校、城山高校で避難所運営訓練を行った。また、防災無線放送に合わせ市内一斉のシェークアウト訓練を実施。



**課題と今後の取り組み**

**1) 協働のまちづくり推進**

①住民との情報交換

- ・地区懇談会でのご意見や要望、提案は、内容を確認のうえ要点をまとめ、地区懇談会カルテとして主要な公民館に質問内容・当日回答・後日対応などを記載したものを設置している。

②地域活動の支援体制強化

- ・市内全域での自治会設立を目指し取り組みを進める。未設立地域では、住民説明会などを通じ、設立に向けた話し合いを地域支援課及び地区担当職員と一緒に進めていく。

**2) 災害に強いまちづくり**

①耐震化の促進、災害時備蓄品整備の充実

- ・耐震化を進めるため、制度の周知方法等の検討を行う。
- ・備蓄倉庫の整備及び備蓄品目、数量の拡充等検討を行う。

②自主防災組織の設立・活性化

- ・未設地区に対する対応、設立済地区に対しては、資機材の再整備等広報し、継続的な活動の働きかけを実施する。

③災害時における地域の支え合いづくり

- ・要配慮者及び避難支援等関係者への個別計画についての説明及び個別計画の作成。

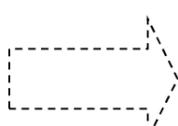
④消防・防災対策の強化

- ・雨天のため、晴天行事が出来なかった。天候による影響の少ない会場の検討や、住民に対し、訓練の重要性や防災意識の高揚を図る。

**施策の追加等**

**【平成 31 年度末の目標 (平成 28 年度末到達目標)】**

H31: 自治会協議会結成率: ①協議会 100%②自治会 100% (H28: ①63% ②89% )  
自主防災組織結成率 100% (H28: 91% )



**【直近の成果 (アウトカム等)】**

(数値目標)  
H28: 9 月末 自治会協議会結成率: ①協議会 ②自治会 (H28: ①53% ②84% )  
自主防災組織結成率 (H28: 89% )

<p>基本目標4：時代に合った地域をつくり、地域の連携による安心なくらしをまもる</p>	<p>基本的方向：(3) 交流人口拡大 (4) 大学との連携</p>	<p>数値目標：自治会協議会結成率 H26:①協議会 47%②自治会 61%→H31:①100%②100% 自主防災組織結成率 H26:89%→H31:100%</p>
--	--	--

**【概要・目的】** ○地域と協働し、活動拠点としての集落活動センターの運営体制や組織の強化を図ります。また、歴史・食・体験などの地域資源活用など、交流人口の拡大のための拠点づくりや強化を進めます。  
○香南市の中山間地域の再生と持続可能な地域の構築に向けて、地域の活性化と振興に寄与する事業推進のため大学と連携し、多様な分野で事業に取り組みます。

**平成28年度の取り組み状況**

**3) 交流人口拡大**

①集落活動センター(小さな拠点整備)

- 西川地区集落活動センターでは、3つの部会を組織し、それぞれが活動計画を立て取り組みを進めている。平成27年度から、高知大学地域協働学部と連携し、同センターでの活動を通じた学びの場の提供を行っている。今年度入学した60人の学生も4班に分かれ、西川地区で学んでいる。

②地域団体の活動促進、支援充実

- 地域活動団体の育成に向けた取り組みを行っている。

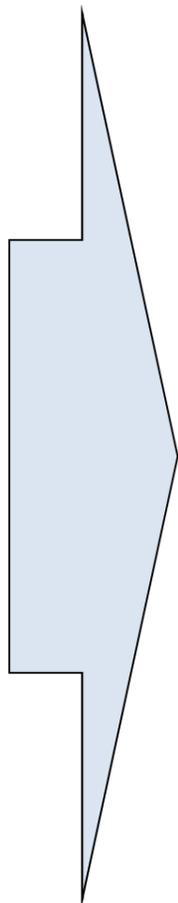
③歴史・食・体験等による交流人口の拡大

- 歴史を中心とした博覧会(志国高知幕末維新博)の取り組みを通じた、県内に存在する歴史資源の磨き上げ(リアル化)や磨き上げた歴史資源を含めた観光資源を周遊できるコース(観光クラスター)の整備に取り組む。
- 観光施設連絡会(5/20、6/16、8/5、9/9、11/18)を開催し、市内各地域の観光施設等の相互交流や活動の活性化を行っている。

**4) 大学との連携**

①大学との連携

- 平成27年度から、高知大学地域協働学部と連携し、西側地区集落活動センターでの活動を通じた学びの場の提供を行っている。
- 平成28年度高知大学出前公開講座を9月より全5回で開催し、34名の受講生が参加。



**課題と今後の取り組み**

**3) 交流人口拡大**

①集落活動センター(小さな拠点整備)

- 平成27年度から高知大学地域協働学部の2年生12人が、地域住民との交流や聞き取り調査、会合や活動作業などに参加。今年度後期からは、西川集落活動センターに1年生10人が関わり学んでいく。西川地区にとっても学生の新鮮なアイデアや意見に刺激を受けながら、各部会の事業計画に活かしたり、活動作業の手助けになったりと、地域が活性化している。

②地域団体の活動促進、支援充実

- 交流人口に拡大に寄与する、活動団体の掘り起こしや、事業の啓発等を行う。

③歴史・食・体験等による交流人口の拡大

- 磨き上げ事業、観光クラスター事業の補助金を活用できる事業等をクラスター協議会で検討を行い、集客増加につなげる。
- 志国高知幕末維新博事業及び外国船観光客受入体制づくり等について協議を行う。

**4) 大学との連携**

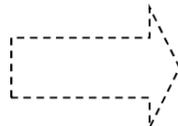
①大学との連携

- 西川地区集落活動センターでの継続した取り組みを行う。
- 高知大学出前公開講座の次年度計画の検討を行う。

**施策の追加等**

**【平成31年度末の目標〈平成28年度末到達目標〉】**

H31:自治会協議会結成率:①協議会 100%②自治会 100%	(H28: ①63% ②89%)
自主防災組織結成率 100%	(H28: 91%)



**【直近の成果(アウトカム等)】**

(数値目標)  
H28:9月末 自治会協議会結成率:①協議会 ②自治会 (H28: ①53% ②84%)  
自主防災組織結成率 (H28: 89%)